

## 宮古発

### 航路開設の記念切手

宮古と北海道の室蘭を結ぶ定期フェリー航路開設を記念した切手シートが宮古市に贈呈されました。



シートには、フェリーのほか宮古の浄土ヶ浜、室蘭の地球岬などの景勝地が描かれています。価格は900円で、宮古市など県内

60の郵便局とネットショップで2000シート発売されます。(6/14 ニュースエコー)

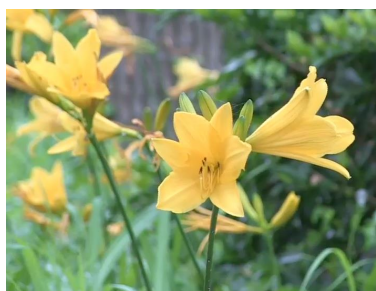
## 大船渡発

### 鮮やか ニッコウキスゲ

大船渡の景勝地、碁石海岸では、遊歩道に咲くユリ科の花、ニッコウキスゲが見ごろを迎えています。花は2週間ほど前から咲き始め、緑豊かな松林にニッコウキスゲの鮮やかなオレンジ色が映えています。

碁石海岸ではまもなくアヤメ科のノハナショウブが、7月後半にはヤマユリが咲き始めます。

(6/15 ニュース)



## 大船渡発

### 青い海を守ろう

海の環境保全について学んでもらう出前授業が大船渡で行われました。釜石海上保安部が開いたもので、大船渡市立綾里小学校の児童16人が参加しました。水質を調べる実験で、地元の綾里湾がきれいな海だとわかると、子どもたちはほっとし、青い海を守ることを誓っていました。

(6/16 ニュース)



## 宮古発

### 「東北復興のシンボル」

北海道の室蘭と結ぶフェリー航路開設の記念祝賀会が宮古市で開かれました。祝賀会では航路を開設した川崎近海汽船の赤沼宏社長が「新たな航路は東北復興のシンボル。東北と北海道の物流を活性化させたい」とあいさつしました。

第1便は22日午前8時に室蘭に向け出港します。

(6/18 ニュースエコー)



## 大槌発

### 役場庁舎の解体 始まる

震災の津波で全壊した大槌町旧役場庁舎の解体作業がはじまりました。撤去されたものは、一部を除いて廃棄物として処理されます。旧役場庁舎をめぐる「価値の検討が不十分」として、職員の遺族らが工事差し止めの仮処分を申し立てています。

(6/18 ニュースエコー)



## 大槌発

### 町職員が防災研修



大槌町で町の職員を対象にした防災研修が行われました。震災後に採用された職員を中心に40人あまりが参加。

気象台や県の防災担当者から地震や大雨などの災害時の適切な対応を学び、改めて町の職員としての心構えを確認していました。(6/20 ニュースエコー)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>

IBC復興支援室事務局 019-623-3122